

第2学年2組 社会科学習指導案

平成26年9月11日(木) 第5校時
指導者 教諭 青柳 慎一
生徒数 男子18名 女子16名 計34名

1 単元名 九州地方 (地理的分野内容(2)ウ日本の諸地域)

2 単元構成の視点

(1) 教材観

本単元は、地理的分野内容(2)ウについて九州地方を取り上げ、「考察の仕方」の(ア)「自然環境を中核とした考察」に基づいて構成する。

九州地方は日本の南西部に位置し、自然環境から見ると比較的温暖で、南西諸島は亜熱帯に属する。山がちな地形で桜島や阿蘇山など現在でも活発な火山活動が見られる。鹿児島県や宮崎県南部では火山灰など火山の噴出物が厚く堆積したシラス台地が広がっている。台風の通り道になることが多く、集中豪雨による土砂くずれや洪水などの自然災害が多い地域でもある。人口から見ると、九州地方の人口は北部に偏り、地方中枢都市である福岡市とその周辺に集中している。産業から見ると、九州地方は七地方区分した地域の中で農業生産額が最も高く、畜産や野菜の生産が盛んで我が国の代表的な食料供給地域となっている。

「日本の諸地域」の取扱いについて、学習指導要領では「地域の特色ある事象や事柄を中核として、それを他の事象と有機的に関連付けて、地域的特色を追究すること」とある。本単元では、温暖な気候を生かした沖縄の暮らしと産業、シラス台地や宮崎平野の農業、火山のめぐみを生かす人々の暮らしや防災対策など、自然環境を中核とし、それを人々の生活や産業と関連付けて九州地方の地域的特色をとらえさせる。

(2) 生徒の実態 (WEB上では掲載しません。)

(3) 指導観

本単元では、習得した知識・技能の定着を図る指導の工夫として、第一時で九州地方を概観する学習において地理的分野内容(2)ア、イとの関連を図り、その単元で習得した知識や技能を活用して九州地方の地域的特色に結び付く地理的事象を見いだす学習活動を設定する。その際、教科用図書「地図」(以下、地図帳)を積極的に活用していく。

自然環境を中核とした考察の仕方では、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をも

っていることについて考えさせる必要がある。その手立てとして、自然環境や人々の暮らしや産業に関する地理的事象を端的に表すキーワードを書き出し、事象間の関連をウェビングマップに整理する学習活動を位置付ける。また、防災対策が大切であることを考えさせる手立てとして、火山活動に伴う自然災害を取り上げる。その際、理科の学習との関連を図り、火山活動の様子を踏まえて防災対策について考えさせる。

評価については、地理的分野内容(2)ウ「日本の諸地域」全体を内容のまとまりにとらえ、特に、本単元では「社会的事象に対する関心・意欲・態度」と「社会的事象についての知識・理解」の2つの観点に評価の重点を置くこととした。

3 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の目標

九州地方の地域的特色に対する関心を高めるとともに、自然環境を中核とした考察の仕方を基に九州地方の地域的特色を理解させ、その知識を身に付けさせる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象に対する関心・意欲・態度	社会的事象についての知識・理解
自然環境を中核とした考察の仕方からみた九州地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。	九州地方について、自然環境を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

(3) 単元の指導と評価の計画（4時間扱い 本時1／4）

時	○学習活動・内容	指導上の留意点	評価方法・観点
1 (本時)	本時の課題 九州地方は、どのような地域なのだろう？－九州地方を大まかにながめてみよう－		
	○日本全体から見た九州地方の位置と地域構成をとらえる。 ○地図や資料を見て九州地方を概観する。 ・自然（地形、気候、海洋） ・人口（主な都市の分布） ・産業（農産物の分布、工業） ○九州地方の自然環境と人々の生活や産業に関する地理的事象を見いだす。	・地理的分野内容(2)アや歴史的分野と関連付け、位置から見た九州地方の特色をとらえさせる。 ・地理的分野内容(2)イと関連付け、自然環境、人口分布、産業の動向、他地域との結び付きの視点から九州地方を概観させる。 ・自然環境と人々の生活や産業の様子が関連している地理的事象に着目させる。	・九州地方の自然や人口、産業などの様子に関心をもち、自然環境と人々の暮らしや産業に関する地理的事象を意欲的に見いだそうとしているかをワークシートの記入内容で確認する。【関】
	単元を貫く：九州地方は、自然環境と人々の暮らしや産業から見るとどのような学習課題 特色があるのだろうか？		
2	本時の課題 沖縄の自然環境と暮らしや産業には、どのような特色があるのだろうか？		
	○農業の特色を調べる。 ・温暖な気候を利用した花や果樹、サトウキビなどの栽培	・花や果樹、野菜を栽培し航空機で大都市へ出荷していることや観光業と結び付いていることに気付かせる。 ・土地利用に着目させる中で、	・九州地方の自然環境と人々の生活や産業に関する地理的事象に関心を高め地域的特色を追究しようとしているかをワークシ

	○自然環境を生かした観光業の特色を調べる。 ・サンゴ礁 ・開発と自然環境の保護 ○自然災害に備えた人々の生活の工夫について調べる。	米軍基地の占める割合が高いことに気付かせる。 ・観光業と関連付けて、沖縄の歴史的背景についてもとらえさせる。 ・開発により環境問題が生じていることに気付かせる。 ・台風や水不足に備える人々の生活の工夫に気付かせる。	ートの記入内容で確認する。【関】
3	本時の課題 どのように自然環境を生かして産業を盛んにしていったのだろうか？		
	○宮崎平野の促成栽培の工夫を調べる。 ・促成栽培 ・輸送園芸農業 ○笠野原の開発の様子を調べる。 ・シラス台地 ・笠野原の開発 ○九州地方の水産業の様子を調べる。 ・養殖、栽培漁業	・温暖な気候を利用して促成栽培を行い、全国に出荷していることに気付かせる。 ・火山の噴出物が厚く積もったシラス台地は稲作に不適だが、開発を進め茶、さつまいもの栽培や畜産の盛んな地域になったことをとらえさせる。 ・湾や入り江を利用し、養殖や栽培漁業が盛んなことに気付かせる。	・九州地方の自然環境と人々の生活や産業に関する地理的事象に関心を高め地域的特色を追究しようとしているかをワークシートの記入内容で確認する。【関】
4	本時の課題 どのように火山のめぐみを生かして暮らしているのだろうか？		
	○温泉を生かした町づくりの様子を調べる。 ・別府、湯布院の町づくり ○火山による災害に対する防災の取組の様子を調べる。 ・桜島の防災対策 ○自然環境と暮らしや産業から見た九州地方の特色をまとめる。 学習課題のまとめの例 九州地方は、温暖な気候を利用して沖縄県では花や果樹、さとうきびの栽培、宮崎平野では野菜の促成栽培がさかんである。火山が多く鹿児島県や宮崎県の南部ではシラス台地が広がっている。稲作には向かないが開発の結果、畜産や畑作が盛んになった。大分県などでは温泉など火山のめぐみを生かした町づくりが行われている。台風や火山などによる自然災害が多く起こり、人々は防災対策に取り組んでいる。	・観光業や交通網の整備と関連付けて、町づくりの取組の工夫を考えさせる。 ・地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることを考えさせる。 ・これまでの学習を振り返り、自然環境と暮らしや産業の関連で、九州地方の特色をまとめさせる。	・九州地方について、自然環境を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けているかを、ワークシートの記入内容で確認するとともに、事後のペーパーテストの応答結果で確認する。【知】

4 本時の指導

(1) 本時の目標

九州地方の自然や都市、産業などの様子に関心をもち、自然環境と人々の暮らしや産業に関する地理的事象を見いだし地域的特色を追究しようとする意欲を高める。

(2) 本時の展開

過程	学習活動・内容	・指導上の留意点 ◎評価の観点	資料等
導入 5分	1 3枚の写真（サンゴ礁、パイナップル畑、桜島）を見て、どの地方で見られる景観か考える。 ・九州地方の温暖な気候	・地理的分野内容(2)イの学習と関連付け、九州地方の特色に着目させる。	写真（PC） 「サンゴ礁」 「パイナップル畑」 「桜島」 気候グラフ「那覇」
課題提示 2分	2 本時の学習課題と学習の見通しについて、教師の説明を聞く。 本時の学習課題 九州地方は、どのような地域なのだろう？ ー九州地方を大まかにながめてみようー	・本時の学習では、地理的分野内容(2)イで学習した自然環境、人口、産業に着目して九州地方を概観し、その地理的特色を見いだすことを意識させる。	
展開 ① 32分	3 九州地方の位置から見た特色や地域構成を概観する。 ①日本全体から見た九州地方の位置と範囲、九州地方を構成する県を確認する。 ・九州地方を構成する県の位置と名称 ②九州地方が舞台となった外国との交流に関する歴史的事象を振り返る。 ・外国と近接する位置 4 自然環境（海洋や地形）、人口、産業に着目して九州地方を概観する。 ①九州地方の主な地形や海洋の位置と名称、主な都市の位置と名称、主な農産物や工業地帯を調べ、ワークシートに記入する。 ②ワークシートに記入したことを確認し、九州地方の自然環境、人口、産業の様子を概観して気付いたことをグループ内で意見	・地理的分野内容(2)アの学習と関連付け、九州地方の位置を押さえさせる。その際、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを押さえさせる。 ・県の位置と名称を確認させ、知識の定着を図る。 ・歴史的分野との関連を図り、歴史的にも九州地方が外国と近接しており、交流の窓口であったことに気付かせる。 ・作業の説明をした後、グループをつくらせ、友達と学び合いながら作業に取り組ませる。 ・地図帳の一般図や統計を利用して調べさせる。 ・主な都市は、人口 30 万人以上の都市を取り上げ、その位置と名称を押さえさせる。 ・農産物や工業地帯については、地理的分野内容(2)イ(ウ)で学習した事項を基にまとめさせる。 ・人口では、北部に人口が集中し、中央部や離島では過疎地域が広がっていることを押さえさせる。 ・福岡市が九州の地方中枢都市であ	掛地図 「日本全図」 「九州地方」 「領土に関するパンフレット」 写真（PC） 「蒙古襲来絵詞」 「長崎出島」 「ザビエル」 「鑑真」「火縄銃」 ワークシート 地図帳 教科書

	交換してまとめ、その結果を発表する。 ・人口から概観した特色 ・産業から概観した特色 ・自然環境から概観した特色 ③映像資料を視聴して九州地方の自然環境のあらましをとらえるとともに、カルデラの説明について教科書を読んでとらえる。 ・カルデラ	ることを補足説明し、新幹線、高速道路、空港、港が近接し交通の要所となっていることを（GIS の活用を踏まえ）教師がパソコンで提示した地図や航空写真から読み取らせる。 ・産業では、農業生産額が高く北部では稲作、南部では畑作や畜産が盛んであることを押さえさせる。 ・自然環境では、山がちで火山が多いことを押さえさせる。 ・映像資料を視聴させ、九州地方の自然環境に対する生徒の関心を高める。 ・教科書を音読させ、カルデラについて理解させる。 ・自然環境が人々の暮らしや産業に深く関係していることに着目させ、事象を見いださせる。	国土地理院 HP 「地理院地図」 (PC) ※ GIS の活用 NHK for School 「九州地方の自然」 ※メディアコンテンツの活用 教科書
展開② 10分	5 自然環境と人々の暮らしや産業が関連していることを考え、見つけたことをノートに書き出す。 ※予想される生徒の記入例 温暖な気候 { さとうきび サンゴ礁 火山が多い { 温泉 地熱発電 噴火の被害 6 単元を貫く学習課題と次時の学習について教師の説明を聞く。	◎九州地方の自然や都市、産業などの様子に関心をもち、自然環境と人々の暮らしや産業に関する地理的事象を意欲的に見いだそうとしている。 【関心・意欲・態度】(●: C→B へ、○ B→A への手立て) → ●事象を見いだせず記述できていない生徒に対して具体的な自然環境の様子を提示し、それに関係する事象を見つけるよう助言する。 → ○ 1～2 つ記述して、活動を止めている生徒に対して、視点を変えてさらに見つけるよう助言する。 ・本単元では、単元を貫く課題を教師が設定することとする。	
整理 1分	単元を貫く学習課題 九州地方は、自然環境と人々の暮らしや産業から見るとどのような特色があるのだろうか？ 7 本時の学習の評価について、教師の話を聞く。 ・意欲的に学習に取り組んでいる様子を取り上げて賞賛し、生徒の学習意欲の高揚を図るとともに、自己評価能力の育成を図る。		

(3) 本時の評価

○九州地方の自然や都市、産業などの様子に関心をもち、自然環境と人々の暮らしや産業に関する地理的事象を意欲的に見いだそうとしている。【関心・意欲・態度】